

11月例会「カーテンコール」

例会午前の部試行は今回で終了



「カーテンコール」チラシから

例会のお知らせ

名称 / 第 27 回例会 「カーテンコール」

日時 / 2006 年 11 月 28 日(火) AM10:30 ~、

PM1:30 ~、 PM4:00 ~、 PM6:40 ~ (は試行)

場所 / 加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩 15 分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

受付 / 入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で 4 箇月分の会費(2000 円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

【例会作品データ】

タイトル / カーテンコール

監督 / 佐々部清

出演 / 伊藤歩、藤井隆、鶴田真由、奥貫薫、津田寛治、橋龍吾、井上堯之、藤村志保、夏八木勲

データ / 2004 年、日本、1 時間 51 分、16mm、

ジャンル / ドラマ、ヒューマン

解説

昭和 40 年代の下関の映画館が舞台です。映画が娯楽の王者から斜陽になっていく時代状況に流されてしまう映画館の幕間芸人が主人公ですが、こういう芸人がいた、ということ自体に興味をそそられます。

映画館の経営難のアオリを受けて、この芸人は姿を消してしまいましたが、この男を捜して韓国にまで足を伸ばす芸能記者、男に捨てられた娘とその夫、など登場人物たちの生き方探しが絡んできて見応え充分です。懐かしの歌謡曲、名作映画もふんだんに出てきて、それらもまた楽しい。元スパイダースの井上堯之の演技も見所です。(健)

例会午前の部試行は今回で終了

例会の開始時間については、PM2:00 ~、PM4:20 ~、PM6:40 ~として行ってきましたが、新しい会員の入会を促進するために、3 月例会から「AM10:30 ~」を試行しました。しかし、3 月から 9 月までの 4 回の例会では、会員数ともにほとんど変化は無く、今までの PM2:00 ~ の参加者が、AM10:30 ~ と PM2:00 ~ に別れただけの結果となっています。

このままでは、例会を開催するたびに、赤字が増えることとなります。前回からお知らせしており、会員数の増加につながらなかったため、1 月例会からは、試行している午前の部を取りやめ、今年 1 月までの PM2:00 ~、PM4:20 ~、PM6:40 ~ という 3 回の状態に戻すことにしましたのでお知らせします。

これにより、午前の部しか参加できない方については、誠に申し訳ありませんが、会の活動継続のため、やむを得ない判断ですので、どうぞご理解ください。

前回例会の報告

9 月 14 日の例会では、イラク北部の戦争で荒廃した社会と土地に住む人々を、サテライト少年とその周囲で起きるできごとから描いた「亀も空を飛ぶ」を鑑賞しました。参加会員 143 人。

この例会では、ふたつの特色がありました。ひとつは、会員数が伸び悩んでいる中で、参加者数が意外に多かったことです。また、もうひとつは、映像の質や字幕が見難かったの拘わらず、アンケートでは、そのことの記入は無く、映画の内容についての

書き込みがいつもよりかなり多かったことです。

映画は、美しい映像の感動だけが好まれると、思いがちでした。しかし、戦時下のイラクの地方都市という、ふだん目の当たりにする事の無い土地と人々の暮らしを感じることができたこの作品に反響があったことに驚きがありました。

【参加者の感想】

- ・「かわいそうな子供達と思い、そして日本の現在の子供達とをくらべ思うところがあった。」
- ・「こんな事が現実におきているのかも。私はこれからどう生きていくのか……。おそろしく又悲しい映画でした。」
- ・「子どものおかれた、すさまじい環境、知っているつもりだったのに、ものすごい衝撃だった。」
- ・「恐ろしい映画でした。(今の日本国民必見の映画ではないでしょうか。)特に指導者=先頭に立つ人世界の片すみでこんな毎日を送る人がいるのだから。(後略)」
- ・「正義の戦争はないのですね。誰もがつらく悲しい平和の大切さをしみじみ感じました。」
- ・「大人が勝手に起こした戦争にふりまわされる子ども達。戦争のこわさを身にしみて感じました。」
- ・「世界の現実というものが、ありありとわかる内容だった。日本は何と平和ボケしてるんだらうと思った。」
- ・「戦争は絶対にダメ!!」
- ・「戦争で幸せになる人はない。瀕死のライオンのモデルの一人は私の息子です。本の中で悲惨な死に方をします。本当になったら。」
- ・「映画を越えて、演技を越えて、胸のつぶれる思いです。」

【今後の例会に対する希望】

- ・「コメディー」
- ・「悲しい内容だったので、楽しいものを」
- ・「イラクの映画初めてだった良い映画をみたい」

加古川での上映会情報

11月19日(日)に、加古川総合文化センターで、日本軍山西省残留問題を追う元残留兵のドキュメンタリー映画「**蠅の兵隊**」の上映会があります。この上映会は、日中平和交流協会主催で、主人公の奥村和一



氏のトークもあるということです。加古川シネマクラブ4周年記念上映会の企画のとき、この作品は「二人日和」とどちらにするか最後まで競ったものです。また、最近、太平洋戦争で多くの部下を失ったことをずっと引きずって生涯を終えた方の話を伺ったところでもあり、今に至るまで多くの人々に大きな傷跡を残している太平洋戦争のことを知るためにも、この上映会をたいへん楽しみにしています。午前上映10時30分～、トーク12時15分～、午後上映13時30分～15時11分。会費一般900円(当日1,000円)、中高生500円(当日のみ)。問合せ先は高原さんまで、電話427-2225。

12月9日(土)には、同じく加古川総合文化センターで、山間部に消えゆく村の姿を写真に残すカメラマン親子を描いた「**村の写真集**」の上映会があります。文化庁の支援事業として兵庫県映画センターなどが中心となった「村の写真集」ひょうご上映実行委員会が開催するもので、加古川シネマクラブも協力します。午前上映10時30分～、午後上映13時30分～。会費900円(当日999円)。問合せ先は同実行委員会まで、電話078-331-6100。

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200～300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 183人(9月14日現在)